

# あなたが、気になる「質問」はありますか？

## 質問議員8名 質問13項目



皆さんの「へんし」にかかわることを、議員が質問をしました。

安心・安全	生活環境	産業・観光・まちの魅力	道路・交通	健康・福祉	子育て支援・教育
-------	------	-------------	-------	-------	----------

質問項目	議員
P11 土砂災害ハザードマップの有効活用	藤本議員
P10 公共下水道事業の現状とこれからは	竹爪議員
P9 道路に放置された犬のフン害対策を	沖田議員
P8 広島県知事との対談内容は	荒瀧議員
P7 「観光交流拠点整備構想」は	立花議員
P6 熊野市など自治体間交流の今後の展開は	民法議員
P5 筆産業に対する支援の提案	時光議員
出来庭地区県道延伸は急務	荒瀧議員
無料化を控えた広熊道路の整備状況は	民法議員
児童扶養手当の現状と課題は	大瀬戸議員
保育施設を充実させ、定住人口を増やす	立花議員
通級指導教室の充実を	沖田議員
県費、国費補助を活用した部活指導員の導入は	時光議員

※ 紙面の関係により、質疑の一部のみを掲載させていただいています。また、分かりやすい紙面にするために、趣旨が変わらない程度の編集を行っています。なお、熊野町議会のホームページ (http://www.town.kumano.hiroshima.jp) から、一般質問の全ての内容を視聴することができます。

### 子育て支援教育



**Q** 県費、国費補助を活用した部活指導員の導入は

**A** 〈町長〉 補助要件を満たせば導入を検討したい。

〔Q1〕 熊野町は県費、国費の補助対象に該当しないとのことだが、補助要件は。

〔A1〕 1週間のうち、平日1日、土曜・日曜のいずれか1日の計2日を部活休養日とすること。

〔Q2〕 平成29年度から週1日部活休養日を設けているが、保護者、生徒、先生の反応は。

〔A2〕 賛成する意見もあるが、「もつとやりたい」との声もある。

〔Q3〕 補助制度を活用した場合の補助率は。

〔A3〕 国費が3分の1、県費が3分の1、全体で3分の2の補助となり、1時間当たりの補助基



標準額は1千600円が上限である。

〔Q4〕 現在、町費雇用の指導員の人数と平成30年度予算は。

〔A4〕 両中学校で5名雇用している。平成30年度は8名分、46万4千円を予算計上している。

〔Q5〕 補助要件が整えば、補助を有効利用し、町費負担軽減分を英検受験料の一部補助等にまわせるのでは。

〔A5〕 いくつかの問題点はあるが、要件がクリアできれば前向きに検討したい。

**Q** 通級指導教室の充実を



**A** 〈教育長〉 今年度より巡回型の通級指導教室を開設し、指導に当たっている。

〔Q1〕 平成28年9月議会において、就学時健診では発見されなかった児童が、入学後の健診で発達障がい疑いがあると言われ、通常学級では授業を受けることが困難となり不登校になったため、通級指導を要望していたが、今年度より実施されている。

〔A1〕 通級指導教室とは、学校生活で生活面や学習面などに課題のある児童に対して、児童の持っている力を十分に伸ばすために、個々の実態に合わせた指導・支援を行う教室である。対象児童は各学校の通常学級に在籍しながら、通級指導教室において個々の障がいに応じた指導を受ける。

今年度は熊野第四小学校を拠点校とし、第三小学校、第一小学校を担当教員が巡回し、指導に当たっている。

〔Q2〕 学習する児童の正確な音読を助けることができ、児童の読む負担を軽くし、理解を助けるデジタル教科書の活用はできないか。

〔A2〕 タブレットを使った文字の書き方の練習を、ゲーム感覚で楽しみながら学習することも試みている。



▲ デジタル教科書による授業風景